

## 認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針の改訂について

### 1 改訂の背景

- ・近年、社会の複雑化・多様化が急速に進展しており、その中で生じる各種問題の解決を図る基盤となる就学前教育等のあり方について、より進化させる必要に迫られています。
- ・そのため、コミュニケーション力・協同力・感性・表現力・主体性等を育み、国民全てが高度な知性・探究心が持てるよう、質の高い就学前教育等に多角度から挑む必要があります。

### 2 改訂の主なポイント

#### (1) 認定こども園、幼稚園、保育所共通で重視する点の明確化

- ・教育・保育の基本原則は「環境を通じて行う」ものであること
- ・生きる力の基礎を育むため、「知識及び技能の基礎」、「思考力、判断力、表現力等の基礎」、「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力(非認知能力・認知能力)を一体的に育むこと
- ・「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を明確にして取り組むこと
- ・小学校教育との接続をより円滑にすること

#### (2) 乳児保育・3歳未満児保育の充実

- ・乳児については、身体的発達・社会的発達・精神的発達の3つの視点から、保育のねらい及び内容を記載
- ・1・2歳児については、健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域に関する学びが、重層的に、生活や遊びの中で育まれていくということを踏まえた保育内容として新たに記載

#### (3) 保育での養護・教育の積極的な位置づけや、発達過程に応じた配慮事項の設定

- ・養護と教育が一体となって保育が展開されていることを踏まえ、  
 養護⇒子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助やかかわり  
 教育⇒子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助  
 ということを記載
- ・また、どの発達過程にも共通する基本事項を示したうえで、乳児、3歳未満児、3歳以上児と3つの発達過程に応じた保育の配慮事項を設定

#### (4) 保護者・家庭及び地域と連携した子育て支援の充実

- ・保護者とともに子育てにかかわる視点を持ちつつ、保護者の養育力の向上に結びつくような支援を行うとともに、地域での子育て支援の取組みを行う団体の専門性向上を支援

#### (5) 職員の資質・専門性の向上

- ・教育・保育の計画を作成・実践するとともに、その内容を評価・公表するよう努力
- ・計画の作成・実践等により得られた知見を踏まえ、研修や自己研鑽を重ねることで、資質や専門性を向上